

願い輝く秋の夜 清流通り灯ろう流し

朝晩の冷え込みもしだいに厳しくなり、秋らしい気候になってきましたね。今月号から少しだけリニューアルし、横書き中心のレイアウトに変更します。新レイアウト初の「えーる!」では、10月12日に開催された「清流通り灯ろう流し」をご紹介します。この催しは、新型コロナウイルス感染症がまん延していた時期に始まりました。当時は「コロナが終わりますように」「コロナが終わったら旅行に行きたい」といった、コロナに関する願い事が多く見られましたが、今年の灯ろうには「家族が幸せになりますように」「争いのない世の中になりますように」といったもののほか、願い事だけでなく、すてきなイラストが描かれた灯ろうなど、さまざまな思いが込められていました。

会場は、漢陽寺の裏山に掘り抜かれた潮音洞からの清流が流れる「清流通り」。まだ空も明るい17時30分頃には、すでに多くの人が集まり、池に浮かぶ灯ろうを眺めていました。お経が唱えられ、ゆっくりと水路に流されていく灯ろうたち。周囲がしだいに暗くなるにつれて、いくつもの灯が水面に揺らめく様子は、写真に収めるのがもったいないほど美しく、思わず目に焼き付けておきたいと感じました。



流れ着いた灯ろうは、周南市役所鹿野総合支所旧庁舎そばの弾正系桜の下で回収され、スタッフだけでなく見学に訪れた皆さんの手でも、二所山田神社の参道へと運ばれました。宮司さんによる祝詞の奏上の後、龍雲寺の駐車場でお焚き上げが行われ、静かに夜の幕が下りました。

たくさんの願いが集まり、参加者も進行に加わりながら無事に終えた灯ろう流し。多くの人の思いと手で作られるこの行事が、これからも続いていくことを願って、心からエールを送ります!

10月5日（日）

第25回わんぱくフェスタ

鹿野の秋を彩る イベントたち



せせらぎ・豊鹿里パークで行われた「わんぱくフェスタ」では川釣りや丸太切り、マラソン大会などが行われ、秋空の下、子どもたちの歓声が響きました。

お肉と野菜を楽しめる「カントリー焼き」をはじめ、地域の皆さんによるおいしい食事の魅力のひとつです。

10月12日（日）

アサギマダラ飛来

10月には、遠く台湾まで南下するアサギマダラを鹿野の町なかで見かけることができます。二所山田神社前に植えられたフジバカマのまわりをふわふわと舞うあさぎ色のチョウは必見ですよ。



10月3日（金）～12日（日）

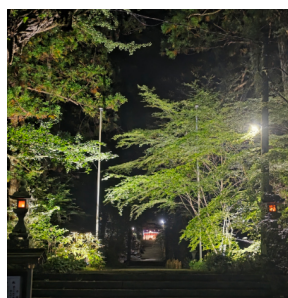
第3回周南地域自慢！鹿野高原豚×周南なすフェア

鹿野の特産品「鹿野高原豚」と、周南地域で作られるナスを組み合わせた料理を提供するフェアが開催されました。参加店舗のひとつである石船温泉では「冷やし茄子ソーメン～豚しゃぶ添え～」が提供されました。まるでソーメンのように細く切られ、片栗粉でのど越しをよくしたナスと、しめられてもなお柔らかさを感じられる豚しゃぶが、暑さの残る10月の昼間にぴったりの一品でした。



11月は

かの' n こと清流Fes.～光の静寂・神やどる杜～



11月14日～30日の毎週金～日曜日に、プロジェクトマッピング&ライトアップイベント「かの' n こと清流Fes.」が開催されます。2回目となる今年は二所山田神社を会場に実施されます。

SNSでも情報を発信しています。右の二次元コードからご覧ください。

